



マネッティ・ブラガース特集上映

イタリアB級映画、最新にして最高峰

2022.11.18 fri. - 24 thu.
シネ・リーブル池袋

2022. **11.18** (金) - **24** (木)

- 18 (金) **吸血鬼ゾラ**
地下聖堂の怪物
- 19 (土) **ディアボリック★**
愛と銃弾
- 20 (日) **吸血鬼ゾラ**
- 21 (月) **地下聖堂の怪物**
- 22 (火) **愛と銃弾**
- 23 (水) **ディアボリック**
- 24 (木) **愛と銃弾**

(★=上映後、京都ドーナツクラブ代表 / FM COCOLO DJ・野村雅夫トークショーあり)

https://ttcg.jp/cinelibre_ikebukuro/

11.11 (金) - **17** (木)

UPLINK 京都にて上映

<https://kyoto.uplink.co.jp/>

11.30 (水) - **12.11** (日)

オンライン上映会

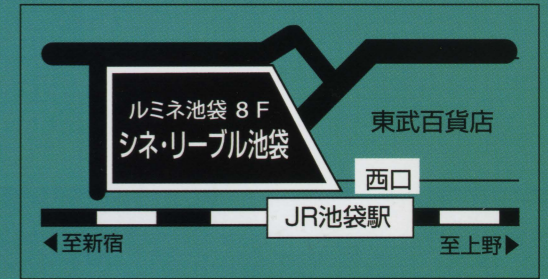
※「僕はナポリタン」はオンラインのみ、
「ディアボリック」と「愛と銃弾」は映画館のみの上映です。



各館プログラム・
オンライン上映詳細

シネ・リーブル池袋

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目11-1
ルミネ池袋 8F
TEL 03-3590-2126
https://ttcg.jp/cinelibre_ikebukuro/



一般	¥1,900
大学・専門生	¥1,500
高校・中学・小学生	¥1,000
シニア (60歳以上)	¥1,200
ハンディキャップ割引	¥1,000
TCG メンバースカード会員	¥1,300



京都ドーナツクラブ

大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)出身の野村雅夫と有北雅彦が中心となり、2005年に大阪ドーナツクラブを結成。イタリア映画界の巨匠シルヴァーナ・アゴ스티監督作の上映会などを全国各地で開催。2012年からは拠点を京都に移し「京都ドーナツクラブ」に改名。2013年には事務所兼イベントスペース「チルコロ京都」を京都・木屋町にオープンし、2015年に法人化。日本未公開のイタリア映画を上映する「映画で旅するイタリア」や「エドアルド・レオ特集上映」など、イタリア文化を日本へ届ける活動を続けている。

主催 / 京都ドーナツクラブ
特別協力 / イタリア文化会館 - 東京



※『吸血鬼ゾラ』は、イタリア外務・国際協力省の翻訳助成金を受けて翻訳されたものです。



mottox

テーブルに笑顔とワインを世界から

株式会社モトックス

www.mottox.co.jp mottox_official @mottox_official



MANETTI BROS.

吸血鬼
ゾラ
ZORA
LA VAMPIRA

DIABOLIK
ディアボリック

IL MOSTRO DELLA CRIPTA
怪物
地下聖堂の

ammore
愛と銃弾
malavita



日本初公開

2000年/イタリア/カラー/105分
監督: マネッティ・ブラザーズ
出演: ミカエラ・ラマツォッティ、トニ・ベルトレッリ、カルロ・ベルドネ

時は2000年、テレビ番組を見てイタリアが吸血鬼に好意的な国だと勘違いしたドラキュラ伯爵は、ルーマニアのトランシルヴァニア地方からイタリアに移り住む決意をする。移民たちとともに貨物船でイタリアに密入国したドラキュラは、グラフィティ・ライター之女ゾラと運命的な出会いを果たす。



2021年/イタリア/カラー/134分
監督: マネッティ・ブラザーズ
出演: ルカ・マリネリ、ミリアム・レオーネ、ヴァレリオ・マスタンドレア

1960年代、架空の国クレルヴィル。冷酷非道な連続強盗犯ディアボリックは、富豪の未亡人エヴァ・カントが持つダイヤモンドを盗もうとするが、敏腕警部ジッコはそれを阻むべく彼を追跡する。そんな中、ディアボリックはエヴァからダイヤモンドが偽物だと聞かされ……。



日本初公開

2021年/イタリア/カラー/116分
監督: ダニエレ・ミシスキア
プロデューサー: マネッティ・ブラザーズ
出演: トビア・デ・アンジェリス、バスクアーレ・ベトロロ

イタリアの田舎町で育った20歳のジョーは、自主映画に情熱を燃やし、友人たちと撮影を試みるが失敗ばかりだ。そんなある日、ホラー漫画を読んでいる、その舞台が自分の住む町にそっくりなことに気づく。漫画に導かれるように教会に忍び込んだジョーは、隠された地下聖堂を発見する。



2017年/イタリア/カラー/134分
監督: マネッティ・ブラザーズ
出演: ジャンパオロ・モレッリ、セレーナ・ロッシ、カルロ・ブッチロツ

ナポリのマフィアのボス・ヴィンチェンツォは、自分の死を偽装して妻マリアと国外逃亡する計画を立てるが、看護師ファティマに生きている姿を目撃されてしまう。ヴィンチェンツォは部下の殺し屋チーロに彼女の殺害を命じる。だが、ファティマはチーロがかつて深く愛した女性だった。

70th Anniversary
いのちをつなぐ
SARAYA
<https://www.saraya.com/>

あなたの「イタリア語」をインバウンドに活かしませんか！
訪日イタリア人旅行者向けガイド募集
活動: ガイド養成講座・野外研修
ガイド認定・賠償保険など
☎: 03-6459-1716
✉: info@japantourist.guide

Online限定上映
僕はナポリタン
2013年/イタリア/カラー/114分
監督: マネッティ・ブラザーズ
出演: アレッサンドロ・ローヤ、ジャンパオロ・モレッリ、カルロ・ブッチロツ
ナポリ育ちの青年パコは、奥手な性格のためにナポリの荒っぽさに馴染めず、名門音楽院を卒業している優秀なピアニストにもかかわらず、仕事がなかなか見つからない。親のコネでなんとか警察官の職にありつすが、上司から命じられた初めての仕事は、謎のベールに包まれたギャング団のボスの正体を突き止めるという危険なミッションだった。

マネッティ・ブラザーズ
1968年生まれのマルコと1970年生まれのアントニオ、マネッティ兄弟による映画監督ユニット。ローマを拠点に、90年代から有名無名問わず国内ミュージシャンのMVを撮影。2000年代からは、B級感漂うホラーやSFのジャンル映画を撮り始める。2013年の「僕はナポリタン」で注目を集め、2018年には「愛と銃弾」でイタリア最大の映画賞ダヴィッド・ディ・ドナテッロで最優秀映画賞を受賞。